飯田市美術博物館プラネタリウム天歩

平成 28 年度オリジナル番組新作発表会

2017 年 3 月 18 日（土）13:30 ～ 15:30

※空席がある場合は途中入場できます。

動物園や映画制作、海中から天文宇宙まで、最新のドーム映像に関する話題を映像とともにご紹介します。

伊藤崇さん（飯田市立動物園）

昭和 58 年、飯田市で生まれる。
18 歳で千葉県にある動物の専門学校に入学し、20 歳で卒業と同時に飯田市立動物園に就職する。主にサル類やビーバーなどの飼育を担当。サルは、人間と同じでずるい個体ややさしい個体など様々でとても面白いと思っている。実家では自ら保護したネコを飼育。趣味はテレホン人生相談を聞くことで、録音してかかさずチェックしている。

ねばねば～
納豆も大好きなニホンザル

木川剛志さん（和歌山大学観光学部准教授）

1976 年京都市上京区上七軒界隈生まれ。上七軒は京都の五花街の一つであるが、西陣地区でもあり、機織りの音と三味線の音が交わる中を小学校に通う。2006 年から 2015 年まで福井工業大学デザイン学科に所属し、教員として学生たちと福井市中心街のまちづくりにかかわる。その一環で、学生たちと地域を舞台とした短編映画製作を始める。映画以外にも落語専門の寄席小屋（きたまえ亭 2014 年末閉館）を運営し、地域の物語をモチーフに落語の台本執筆や上演をしてきた。また、2014 年より「街」をテーマとした福井駅前短編映画祭を、津田寛治を審査委員長に迎えて福井市にて主催している。

第 9 回松本商店街映画祭
グランプリ、串田監督賞 W 受賞作品
「替わり目」（短編映画、約 20 分）

尾久土正己さん（和歌山大学観光学部教授）

岡山県生まれ。大阪教育大卒。高校教員、西はりま天文台研究員、みさと天文台長を経て、2003 年から和歌山大教授。西はりま時代は、活動銀河核の観測と並行してネットを使った天文教育に着手。みさと天文台に着任後は、日食などを世界中から生中継する一方、町の情報化を推進。大学着任後は、プラネタリウムに実写の映像を投影する研究に着手。2009 年 文部科学大臣表彰受賞。近年は、同僚の木川氏に誘われて映画撮影にも挑戦。

日食と美しい星空を求めて
どこまでも！

映像実験も実施します！

仮想スタンプラリーシステム「うごスタ」を体験しよう！
日　時：3 月 18 日（土）、19 日（日）　開館時間内
場　所：プラネタリウムロビー周辺
参加費：無料

「うごスタ」は、運動しながら風景映像を楽しみ、さらに仮想的にスタンプラリーを行うシステム。Google 社のストリートビューや独自に撮影した風景映像が、運動に合わせてうつしだされます。どんな風景に出会えるかな？　さあ、自転車をこいで旅にでよう！

溝渕昭二さん（近畿大学理工学部准教授）

徳島県出身。専門は自然言語処理（言葉をコンピュータで扱うための研究）。現在は、辞書を引いた結果から推定した語彙力を元に、知らない言葉の意味を教える仕組みを研究している。ひょんなことから，全く知らないＶＲ技術を使って「うごスタ」を開発することになり，最近は悪戦苦闘の日々。日本の戦国時代が大好きなので、「うごスタ」を使って百名城の制覇を目論んでいる。